

一般社団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会
組織委員会 会長 森 喜朗 殿

2014年12月15日
日本共産党東京都議会議員団

海の森水上競技場計画の再検討を求める申し入れ

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の競技会場について、日本共産党都議団は、整備費を必要最小限に抑えること、そのために隣接県も含め既存施設の最大限活用をはかることを求めてきました。東京都が6月以降、膨張する整備費の抑制などの視点から会場計画の見直しを検討し、バスケット、バドミントン会場などの新設を中止し、他県も含めた既存施設の使用を打ち出したことは重要です。

しかし都が負担する会場整備費の試算は、見直しを行った現段階でもなお2千5百億円を超え、さらに増大する可能性があり、また新設施設の後年度負担も懸念されます。先日開かれたIOC臨時総会で承認された「アジェンダ2020」でも既存施設の活用や開催都市以外での開催を認めることが強調されており、都は会場計画について、さらなる見直しをはかるべきです。

なかでも海の森水上競技場計画は、公平な競技環境の確保や491億円にもものぼる整備費、後年度負担と後利用計画などへの懸念から、ボート競技関係者からも疑問の声があがっています。

日本共産党都議団は、海の森水上競技場計画地の調査、会場変更を求めているボート関係者からの意見聴取、戸田ボート場および五輪会場として提案されている彩湖の調査、さらに彩湖を管理する国土交通省荒川上流河川事務所からの聞きとり調査を行ってきました。

その結論として、海の森水上競技場計画は見直し、戸田市長などからも提案されている彩湖の活用を検討することを求めるものです。

(1) 公平な競技環境、整備費、維持管理費などの面から再検討が必要

ボートおよびカヌー（スプリント）の競技会場予定地である海の森と中央防波堤外側埋立処分場に挟まれた水路は、護岸が垂直で海面との高低差が4メートルほどあり、横から吹く強い海風の影響がレーンの位置により異なるなど、

公平なレースを保障できる環境ではありません。国際ボート協会からも、護岸と海面の高低差が大きいことは問題点として指摘されている状況です。

戸田監督会（戸田ボート場を利用する大学ボート部の監督による組織）は、現計画について「五輪という世界最高の舞台に相応しいコースには到底なりえず、各国選手団から大きな批判を浴びることは必至と考えられます」との見解を表明しています。

整備費も、立候補ファイルでは 69 億円とされていたものが、11 月に示された試算では 491 億円とされ、さらに建設物価等の上昇や整備内容の精査にともなって増加する可能性があります。

さらに維持管理費の推計は示されていませんが、潮の干満や波を遮断するための水門の開閉、水位を上げるための揚排水機の作動など、通常のボート競技場にはない維持管理費がかかります。

（２）後利用計画も成り立たない

海の森水上競技場の後利用計画は、「国際大会開催可能なボート、カヌー場」であるとともに、都民の「レクリエーションの場」、「新たなスポーツ体験の場」などに活用するとされています。

しかし、戸田ボート場を利用する大学ボート部などの多くは、ボート場に艇庫と宿泊施設を兼ねた施設を自己所有しており、たとえ海の森にボート場ができて移転できないという声があがっています。また戸田市には安価な宿泊施設があるが海の森周辺にはないなど、立地的にも全国大会を開催するのは困難との意見が寄せられています。

ボート場以外の利用が考えられるとしても、そのために莫大な整備費と維持管理費の投入が適切なのかどうか、判断が問われます。

（３）提 案 —— 彩湖（荒川第一調節池）活用の調査・検討を

戸田市長及び戸田監督会は、海の森水上競技場の対案として、戸田ボート場に近接する彩湖（荒川第一調節池）を仮設競技場として活用することを、組織委員会および東京都に提案しています。日本共産党都議団は関係者からの聞き取りや現地調査などを行い、貴重な提案だと判断しました。

彩湖が検討に値すると判断した理由は以下のとおりです。

- ① 彩湖は、湖畔の一部を掘削するだけ 2000 メートルの競技コースを確保することができる。埼玉県ボート協会の試算では、整備費用は約 50 億

円、海の森競技場の 10 分の 1 程度である。

- ② 彩湖は、堤防に囲まれた広大な公園のなかにあり、風も穏やかであることなどから、静水化対策、防風対策が不要であるうえ、緑に囲まれた競技環境が保障されている。
- ③ 彩湖ではこれまでも、カヌーやトライアスロンなどを実施している実績がある。
- ④ 公園内には野球、テニスなどのスポーツ施設、5 階建ての彩湖自然学習センター、1500 台の駐車場などがあり、大会の附属施設として活用可能である。
- ⑤ 戸田ボート場と近接しており、戸田ボート場に艇庫をもつボート部などの後利用が可能であり、戸田ボート場と一体でボート競技の振興に役立つ。
- ⑥ 晴海の選手村から約 20 キロメートルの位置にあり、高速道路のインターチェンジも近い。

なお課題としては、彩湖には管理橋がかかっており、橋の除去ないし架け替えが必要となることがあげられます。

以 上